

第7回 葛城市地域公共交通活性化協議会 会議録

開催日時 平成27年4月13日（金） 午後3時

開催場所 葛城市役所 新庄庁舎 4階 401会議室

欠席者 寺嶋委員、西本委員、吾妻委員、中村委員、山下博委員、千ヶ崎委員、
吉川正委員、大西委員

議事

1 開 会

(事務局)

○協議会規約の第9条第6項の規定により、関係者の出席のご了承をお願いいたします。大阪府都市整備部 都市整備総務課付け参事で4月1日より、葛城市まちづくり統括技監としてお越しいただいている松倉様でございます。よろしく申し上げます。

(松倉氏)

○よろしく申し上げます。

2 会長挨拶

○今回、皆様にご審議いただく案件は、バス網の基本計画についてです。その後、6月末に国（運輸支局）に提出できるように、詳細な実施計画を立てていきます。それに基づき、12月ぐらいから運行ができればということで、進めさせていただきたいと思います。最後までよろしく申し上げます。

(事務局)

○議事に入る前に、議員のご紹介を申し上げます。葛城市社会福祉協議会として田中敏幸局長でございます。

(田中委員)

○よろしく申し上げます。

(事務局)

○また、本日は欠席しております方で、ご紹介のみさせていただきます。近畿運輸局奈良運輸支局長として、森本武彦支局長様が新しく参加されることになりました。

○なお、本日は稲留様に代理出席していただいております。

(事務局)

○それでは、協議会規約の第9条第1項の規定によりまして、山下会長が会議の議長となりますので、議事進行、よろしく申し上げます。

3 協議案件

「(1) 平成27年度予算(案)について」

(議長)

○協議案件「(1) 平成27年度予算(案)について」事務局より説明をお願いします。

(事務局)

○本来は平成26年度中に今年度の予算案を提示し、ご審議いただく案件ではございますが、開催時期の関係で本日ご審議いただくことになりましたことをご了承いただきますようお願い申し上げます。

[資料1 説明]

○次に、平成26年度決算についてでございますが、整理でき次第、ご報告させていただきたいと思っておりますので、ご了承の程、宜しく願いいたします。

○ここで、ご審議いただきたい案件があります。公共交通実証運行計画策定につきまして、6月末までに策定する必要があるとして、期間のない中、昨年度にアンケート調査と、基本計画の策定をしていただいたこともありまして、ノウハウもお持ちであり、他社に依頼するよりも安価になるということから、引き続き株式会社長大さんをお願いしたいと考えております。この件について、ご審議のほど、よろしく願いいたします。

(議長)

○まず、平成27年度の予算(案)について、何か質問等はございませんか。

○なければ、平成27年度予算(案)についてご賛同いただけますでしょうか。

(「異議なし」の声)

(議長)

○異議なしという声をいただきましたので、承認させていただきます。

○次に、公共交通実証運行計画策定の委託業者について、昨年度に引き続き株式会社長大さんをお願いしたいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声)

(議長)

○異議なしという声をいただきましたので、引き続き株式会社長大さんよろしく願いいたします。

「(2) 葛城市生活交通ネットワーク基本計画(案)について」

(議長)

○協議案件「(2) 葛城市生活交通ネットワーク基本計画(案)について」事務局より説明をお願いします。

(事務局)

○葛城市生活交通ネットワーク基本計画(案)について株式会社 長大さんから説明させていただきます。

(株式会社 長大)

[資料2 説明]

(事務局)

○前回の協議会におきまして、今後の方針といたしまして、大きく3つの方針をご確認いただきました。1つ目は、ルートが重複しているコミュニティバス路線を効率化する。2つ目は、市民のニーズを踏まえた公共交通サービスを確保する。3つ目は、受益者負担の考えの下、公共交通サービスを有料化の方向で見直す。

○以上を踏まえまして、この基本計画(案)において、資料3の路線図の案を作成しましたので説明させていただきます。

[資料3 説明]

(議長)

○只今、説明がありました葛城市生活交通ネットワーク基本計画(案)と、バスの路線図について説明がありましたが、何か質問はございませんでしょうか。

○今までは、葛城号1台、ゆうあいバス2台、ミニバス1台の計4台のバスでしたが、マイクロバス、少し大きめのバスを2台、ミニバスが3台に変更となります。主要ルートを環状ルートにし、そこをマイクロバスが2台走ります。概ね30分に1回がバス停にバスが来るということです。

○デマンドを導入しない中で、特に山側の利便性を高めるためにどうすればいいか考えています。例えば、全ルートでは難しいが、ミニバスで手挙げ方式にし、エリアだけを決めて乗ってもらおうという方法も考えると良いのではないかと思います。

○ただし、路線図とバス停につきましては、最終決定ではありません。一応、葛城市には44の大字がありますが、最低1ヶ所ずつは停まれるように考えていこうと思っています。

○何か質問はございませんでしょうか。

(森口委員代理)

○環状ルートとミニバスルートがあって、ミニバスルートが10コースから6コースに統合という話がありましたが、地図上のミニバスルートが全て同じ色で描かれているので、交錯しているルートか、独立しているルートかが分かりづらいと思います。

○また、環状ルートとの乗り継ぎのポイントが分かると良いと思います。今後の話かもしれませんが、その辺りが分かるような地図にさせていただけたらと思います。

○高田市立病院に環状ルートでまわっていくというニーズのあると思われるルートなのですが、診療時間が終わっている時間帯や、休診日の場合、ショートカットするのでしょうか。

(事務局)

○まず、ミニバスルートの地図についてですが、今回は全て黒色で作成してしまいましたが、今後はルートごとに色を変えていきたいと思います。

○環状ルートとの乗り継ぎについてですが、ミニバスルートを環状線に乗り継ぎの便利なように、ダイヤ等をこれから協議していきます。

○高田市立病院の時間帯等についてですが、たとえば高田市立病院の診察時間である午前中には環状ルートの系統の時間帯の本数を多くしたり、お昼の買い物時には市立病院に行かれる方が少なくなるので、環状ルートの系統の時間帯の本数を減らしたりするなどして、バスを有効活用させていただくような計画もさせていただいております。

(議長)

○基本的には環状ルートにミニバスをくっつけていく。時間も合わせていくということ。

(稲留委員代理)

○路線によって補助金が出る、出ないがあると思いますので、事前に一度お示しいただければ色々アドバイスもできると思います。

(議長)

○他に質問や意見はございませんでしょうか。

(八伏委員代理)

○先程、環状ルートは1時間で1周という話がありましたが、今まで走らせていただきました時間や、新たに走るキロ数、ゆうあいステーションへの往復を考えると、恐らく1時間30分くらいはかかるのではないかと思います。30分毎に1本のバスが来るとするのは非常に難しいのではないかと思います。

(議長)

○市民病院やゆうあいステーションに寄ることも含めて、どのくらいの時間になるのかは気になるところです。

(事務局)

○奈良交通さんからは、1時間20分から30分になるとお聞きしていたので、その辺りで考慮しています。

(議長)

○45分に1本という、少し長いような気もするので、その辺りもう少し考えていかないといけない。

(八伏委員代理)

○双方が同じ本数走る必要があるのかを考えないといけないと思います。市長さまがおっしゃられたように、片方に回るのも1つの方法だと思いますし、両方に回る場合なら回数を変えるというのも1つの方法だと思います。

(議長)

○今回は基本的な考え方だけご了承いただくということですが、基本的な考え方としては、環状ルートにミニバスルートを絡ませていくということですね。ご了承いただけますでしょうか。

(「異議なし」の声)

(議長)

○異議なしという声をいただきましたので、次の議題に入りたいと思います。

4 今後のスケジュールについて

(議長)

○今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いします。

(事務局)

[資料2 P37 説明]

○本日、ご確認いただきました基本計画(案)を基に、実証運行計画策定を行ってまいりたいと存じております。次回の協議会では、実証運行計画(案)、ダイヤ、路線図、運賃等の案をお出しする予定でございます。

○できるだけ事前に資料を送付いたしまして、あらかじめ委員の皆様へ資料をご確認していただき、次回の協議会の場で委員の皆様から意見をいただけるように準備いたしますので、よろしくお願いいたします。

○次回の協議会の日程ですが、5月22日午前10時から、新庄庁舎2階の204会議室で開催させていただこうと思っております。お忙しい中、恐れ入りますが、ご参加の程よろしくお願いいたします。

○次回の協議会の後、国への申請を6月末までに行いたいと思います。つきましては、それまでにはもう一度、協議会を開催したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(議長)

○何か、このような案も盛り込んでほしい等がありましたらご意見を頂戴したいと思います。

○私からは、減免の問題を言わせていただきたい。ゆうあいステーションにいら

っしやるボランティアの方々から運賃をとるのかということがあります。

○また、別の話にはなりますが、イオンさん（アルル）へ行くバスの要望。ICTの方でちゃんと話が進んでいるのかを確認をとっていただきたい。

○今度の区長会で、今回の協議会の説明させていただきます。また、議会への全員協議会のお願いということで、また説明させていただこうと思っております。

○他、何かございませんでしょうか。

（東委員）

○路線図案については、概ね了解いたしておりますけれども、先日の下見の中で、指摘させていただきました2点。1点は狭あいなところを通るということで、今日、出していただいた資料では変更されているので、新しいところが問題ないか確認していきたいと思えます。あとは時間規制、一方通行の所がございますので、その時間を外せば大丈夫ということになります。

○あと、質問ですが、バス停はどれぐらいの数を考えているのか、また6月の国への申請はどこまで固めないといけないのかを教えてくださいたいです。

（株式会社 長大）

○バス停は具体的に決まっております。

○6月の国への申請には、バス停、ルート、時刻、料金が必要ですので、その4つは概ね確定し、申請と聞いております。

（稲留委員代理）

○補助金の申請と許認可の申請を分けて考えていただきたいのですが、補助金の申請がまず6月末に締め切りなので、それまでに決めていただきたいのは、ルート、便数、運行事業者。バス停は、起終点は決めていただかないといけません。細かいバス停は猶予があるかと思えます。バス停以外の部分は6月末までに確定していただくということでよろしく申し上げます。

（東委員）

○非常に狭あいな道を走りますので、バスを止められるかどうか、住民の要望通りにできるか、反対がないかということから、バス停の場所を決めるのがなかなか難しい問題であります。できるだけ協力していきたいと思っておりますが、若干難航するというところでスケジュールを立てていただきたいと思えます。

（議長）

○ご意見ご指摘ありがとうございます。それでは長大さん、スケジュールを再構築していただきたいと思えます。

（西井委員）

○元々のゆうあいバス系統はなくすということですか。

○また、ゆうあいステーションの利用者はバス代も払わないといけないとなると負担が大きくなるので、その辺りも考えてもらいたい。

（議長）

○ゆうあいバスについても同じで、全て同じバス系統にします。

- アンケートの結果より、基本的に有料でということで検討しています。無料で走らせると、全て葛城市のお金で走らせないといけません。しかし、1コインということで有料にすると、市民のために行政が有料で走らせるということになると、国からの財政支援があり、約3割程度の負担で走らせることができるということです。ただ、ボランティアの方や障がいをお持ちの方などに対しての減免のことはきちっと考えていく必要があると思います。
- 他に意見はございませんでしょうか。
- なければ、これで第7回葛城市地域公共交通活性化協議会を閉会します。ご協力ありがとうございました。